

知っていますか？ハザードマップ！！

ハザードマップはご存知ですか？ハザードマップは、お住まいの地域の災害情報と、避難方法に関わる情報が記載されているもので、洪水や土砂災害、地震・津波など、災害の種類毎に、お住まいの市町村が作成しています。

ここでは、「洪水ハザードマップ」について、見かたや使い方を学び、災害に備えましょう。

洪水ハザードマップには何が書いてあるの？

◆ 浸水想定区域と浸水深

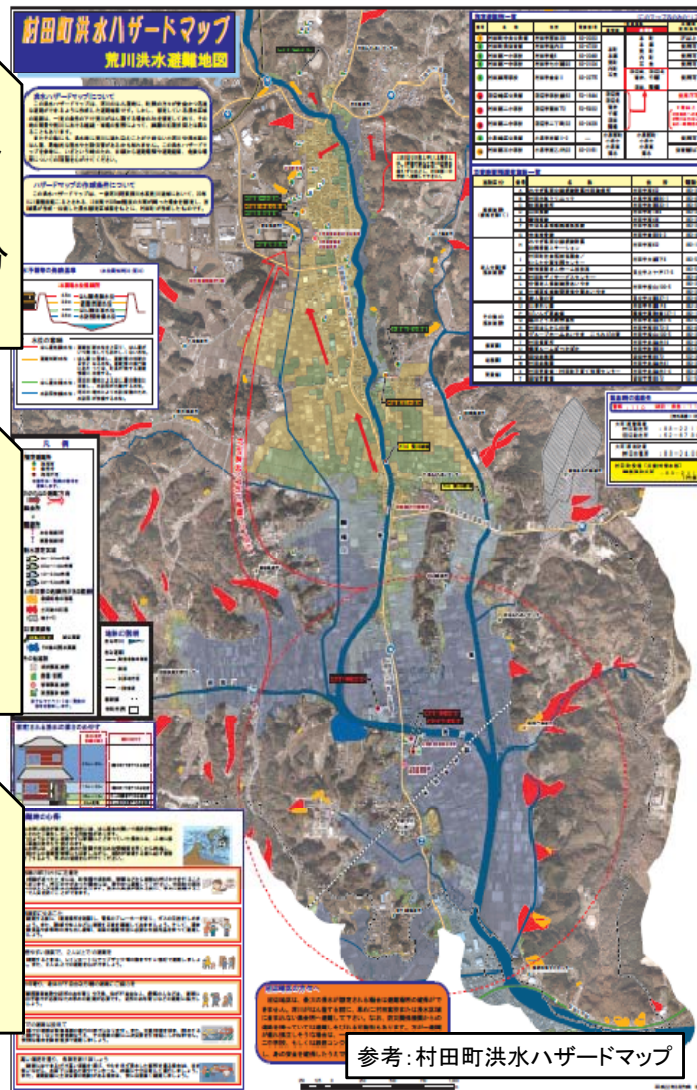
堤防の決壊等により、洪水がはん濫した場合に予想される浸水範囲と深さが、色分けされて表示されています。

◆ 河川のはん濫特性

河川や地形の特性等から、特に早い避難が必要な地区や、はん濫の広がり方等が記載されています。

◆ 災害学習情報

過去に堤防が決壊した箇所や、水害に備えた心構えなどが記載されています。



◆ 避難場所

指定避難所の一覧と、対象地区、水害時の使用可否等が記載されています。

◆ 避難時の危険箇所

土砂災害警戒危険区域や冠水する道路、増水時に危険な水路等が表示されています。

◆ 避難情報の伝達方法

河川の水位情報や避難情報の伝達経路と手段等が記載されています。

◆ 気象情報のありか

気象情報や防災情報の入手先が記載されています。

避難場所の
確認



洪水ハザードマップで、お住まいの地域の「水害の危険度」を知ることができます。まずはハザードマップを、確認してみましょう！

※ここに記載した内容は一例です。お住まいの市町村によっては、記載されていない項目や、別の項目が記載されていたりする場合があります。

ウラ面に、ハザードマップの注意点や、最近の雨のお話が続きます ⇒⇒⇒

効果的な使い方

ハザードマップは、災害が起きてから見ても、間に合わないかもしれません。

普段から、災害時の避難場所や安全な経路を、ご家族で確認することが大切です。一度、ハザードマップを見ながら、**ご家族で避難所まで歩いてみると、とても効果的**ですよ。

予想浸水深さを正しく知ろう

浸水深さの目安は右図のとおりです。

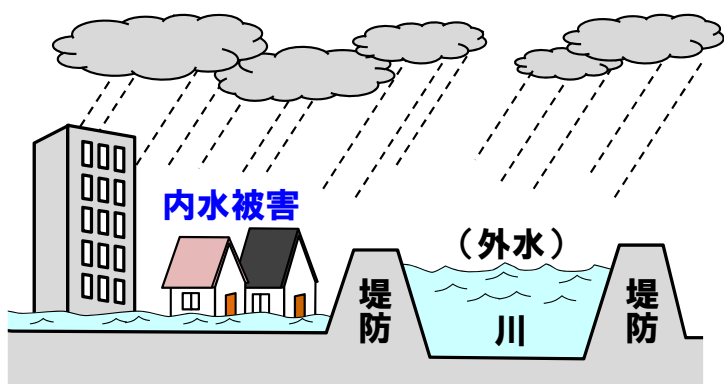
予想される浸水深さが50cm未満であっても、決して安心してはいけません。流れがある場合、歩いての避難はとても困難になる上、水中の障害物や穴などは見えにくいので、とても危険です。

浸水想定区域の深さ	深さの目安
2.0m~5.0m	2階の軒下までつかる程度
1.0m~2.0m	1階の軒下までつかる程度
0.5m~1.0m	大人の腰までつかる程度
0.5m未満	大人のヒザまでつかる程度

大雨の時に一番大切なことは、「水が出る前に、安全なところに避難する」ことです。

水が出てからの避難はとても危険なので、お住まいの地域の浸水深さを参考にして、無理に移動せず、二階に留まる事も検討しましょう。

予想浸水範囲の外でも、浸水の恐れがあります



このような、被害を「内水被害」と呼びます。

洪水ハザードマップは、河川からのはん濫を予想したものなので、内水被害の情報が不足していることがあります。過去の内水被害については、地域の防災に詳しい方や、お住まいの市町村に尋ねてみましょう。

お住まいの場所が浸水範囲の外であっても、油断してはいけません。

最近頻発している「ゲリラ豪雨」のように、水路や側溝、下水道の排水能力を超える強い雨が降ると、河川にまだ余裕があるにもかかわらず、土地の低いところから浸水被害が発生する場合があります。

河川や雨の情報を知って、災害に備えよう

宮城県河川流域情報システム (MIRAI)

県では、県内の水防活動上重要な河川の水位や降水量、ダムの情報等をインターネットを経由してパソコンや携帯電話で提供しています。

【パソコン】

<http://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/>

【携帯電話】

<http://www.dobokusougou.pref.miyagi.jp/tel/>

県では、豪雨災害や洪水ハザードマップについての詳しいパンフレットをお配りしています。

詳しくは、県河川課のホームページや、河川課、お近くの土木事務所までお問い合わせ下さい。

■ お問い合わせ ■

宮城県 土木部 河川課

〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町三丁目8番1号

TEL: 022-211-3173 FAX: 022-211-3197

E-mail: kasen01@pref.miyagi.jp HP: <http://www.pref.miyagi.jp/kasen/>

■ 企画・作成 ■

洪水ハザードマップ活用PT
(H24.3)

REVIR



みやぎスマイル・リバー
マスコット「レビアちゃん」